

令和6年度

学校関係者評価報告資料

年度末報告

<教育目標>

- よく学び、深く考える生徒
- 思いやりと規範意識のある生徒
- すすんで体を鍛える生徒
- 社会に貢献する生徒

<目指す学校像>

- 《目指す教師像》 生徒のやる気に火を付けられる教師
- 《目指す子供像》 主体的に考え、行動できる生徒

令和7年2月10日（月）

江戸川立篠崎中学校

令和6年度

学校関係者評価報告資料

(令和6年度年度末報告)

もくじ

< 全体共通 ～通常学級～ >

1	学力の向上	P 4
	(1) 基礎・基本の定着	
	(2) 学習指導要領に対応した教員の指導力向上	
2	体力の向上	P 5
	(3) 豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実	
3	子どもたちの健全育成	P 8
	(4) 自己と他者を大切に、多様性を認め合える人権尊重意識の涵養	
	(5) 生徒理解に基づいた支援の充実	
	(6) 不登校支援の充実	
4	共生社会の実現に向けた教育の推進	P 13
	(7) 共生社会に向けた特別支援教育の推進	
5	地域に開かれた学校の実現	P 17
	(8) 地域コミュニティの拠点としての取組の充実	
	(9) 学校情報の積極的な配信	
	(10) 学校関係者評価の活用・充実	
6	その他	P 18
	(11) 教員の働き方改革	
	(12) 効率的な学校事務の運用	
	(13) 食育の推進	

< 特別支援学級 ～8組～ >

1	学力の向上	P 22
	(1) 基礎・基本の定着	
	(2) 学習指導要領に対応した教員の指導力向上	
2	体力の向上	P 23
	(3) 豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実	
3	子どもたちの健全育成	P 23
	(5) 生徒理解に基づいた支援の充実	
4	共生社会の実現に向けた教育の推進	P 24
	(7) 共生社会に向けた特別支援教育の推進	

< チャレンジクラス ～9組～ >

1	学力の向上	P26
	（1）基礎・基本の定着	
	（2）学習指導要領に対応した教員の指導力向上	
2	体力の向上	P27
	（3）豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実	
3	子どもたちの健全育成	P28
	（5）生徒理解に基づいた支援の充実	
	（6）不登校支援の充実	
4	共生社会の実現に向けた教育の推進	P30
	（7）共生社会に向けた特別支援教育の推進	
5	地域に開かれた学校の実現	P31
	（8）地域コミュニティの拠点としての取組の充実	

巻末	学校評価（生徒・保護者・教員アンケート）集計結果	P33
----	------------------------------------	-----



全体共通
通常学級

中期目標1	学力の向上
基本方針	(1) 基礎的・基本的事項の定着

数値目標 国学力調査数学・英語の平均正答率が、都の平均以上

具体的方策① 放課後補習を活用しての基礎的・基本的事項の定着を図る

資料1 放課後補習の実施状況 (令和6年10月現在)

	R5	R6
第一学年	17名	28名
第二学年	23名	12名
第三学年	17名	12名
合計	57名	52名

数学・英語のみ、年間151回の実施

具体的方策② 国際交流（直接交流・間接交流）を軸にした英語教育の充実

資料2 国際交流の実施状況

	R5	R6①	R6②
交流国（人数）	韓国（8人）	アメリカ（4人）	韓国（23人）
交流方法	オンライン	直接	直接
交流時間	12月・1月	一日	午後
主たる交流学年等	英語部	3年生	2年生
交流内容	<ul style="list-style-type: none"> 国の文化紹介 文通 	小学校視察 中学校視察 給食 アメリカ紹介 合唱披露 部活動交流	給食交流 伝統文化 （柔道、剣道、けん玉、K-POP） 部活動交流

参考資料 全国学力調査結果

		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
		平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)
国語	篠崎中学校	9.5 / 14	68	10.1 / 14	72	11.1 / 15	74	8.1 / 15	54.0
	東京都(公立)	9.4 / 14	67	9.8 / 14	70	10.8 / 15	72	9.1 / 15	60.6
	全国(公立)	9.0 / 14	64.6	9.7 / 14	69.0	10.5 / 15	69.8	8.7 / 15	58.0
数学	篠崎中学校	8.8 / 16	55	7.7 / 14	55	8.3 / 15	55	8.8 / 15	55.0
	東京都(公立)	9.6 / 16	60	7.6 / 14	54	8.2 / 15	54	9.1 / 15	56.8
	全国(公立)	9.1 / 16	57.2	7.2 / 14	51.4	7.6 / 15	51.0	8.4 / 15	52.5
理科	篠崎中学校			10.6 / 21	51	/		/	
	東京都(公立)			10.6 / 21	51	/		/	
	全国(公立)			10.4 / 21	49.3	/		/	
英語	篠崎中学校					8.6 / 17	51		
	東京都(公立)					8.8 / 17	52		
	全国(公立)					7.7 / 17	45.6		

中期目標1	学力の向上
基本方針	(2) 学習指導要領に対応した教員の指導力向上

数値目標 調べる学習コンクールへ 300 人以上が出品

具体的方策① 調べる学習コンクールへの出品を軸にした、読書科の充実

資料1 図書館を使った調べる学習コンクールへの参加状況

<R5>

	参加人数	受賞者	主な内容
第一学年	176 人	江戸川区内 金賞 2 名	ふくろうの生態、各地の方言について、天気の仕事、SDGs で何ができるか など
第二学年	0 人	—	
第三学年	0 人	—	

<R6>

	参加人数	受賞者	主な内容
第一学年	198 人	区内銀賞 1 名	火山の噴火、動物について など
第二学年	138 人	区内銀賞 1 名	言葉の成り立ち、SDGS など
第三学年	193 人	区内銀賞 3 名	方言について、宇宙について など

中期目標2	体力の向上
基本方針	(3) 豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実

数値目標 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査で D・E 判定の生徒が、全体で 20% 以下

具体的方策① 本校の課題を意識した保健体育科の授業における補助運動の充実

資料1 各単元等における主な補助運動

- 陸上・・・ミニハードル
- ハンドボール・・・敏捷性につながるステップ
- 水泳・・・肩回りの重点的なストレッチ
- バレーボール・・・敏捷性につながるウォームアップ
- 器械運動・・・柔軟・バランスなどを取り入れたサーキット

具体的方策② 「フィットネスエリア」を活用した個に応じたトレーニングの充実

資料1 フィットネスエリアの設置状況

- ・場所の確保と整理ができた状況である。
- ・今後は、トレーナー等と話し合いながら、必要物品等を予算に応じて導入していく。

<現在の状況>



資料2 アスレチックトレーナーの設置

アスレチックトレーナーにかわる人材を配置

資料3 フィットネスエリアの活用状況

- トレーニング部を中心に活用
- 他の運動部も、必要に応じて活用



参考資料 体力調査結果

		令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		学校	都	区	学校	都	区	学校	都	区	学校	都	区
1 年 男	A	2.9	2.6	2.1	1.1	3.3	3.7	4.9	3.3	2.7	34.5	33.2	33.7
	B	18.8	16.1	14.6	17.0	17.2	16.0	8.5	17.3	17.5			
	C	31.9	34.7	34.0	35.2	33.9	31.7	36.6	33.8	31.9			
	D	30.4	34.6	33.4	34.1	33.6	35.9	39.0	33.2	33.1			
	E	15.9	12.1	15.9	12.5	12.0	12.8	11.0	12.5	14.8			
1 年 女	A	14.1	22.3	20.8	27.0	21.9	20.9	27.6	21.0	19.1	41.1	42.1	41.7
	B	40.0	34.3	32.7	36.0	33.5	33.7	28.9	32.6	31.6			
	C	24.7	29.3	30.5	23.6	29.1	28.0	27.6	29.5	31.9			
	D	17.6	12.4	14.2	11.2	13.4	15.4	14.5	14.6	14.6			
	E	3.5	1.8	1.8	2.2	2.2	2.0	1.3	2.3	2.7			
2 年 男	A	4.1	5.0	4.6	3.1	5.8	5.1	8.9	6.7	6.4	40.8	40.8	41.2
	B	17.3	20.7	20.3	21.9	21.5	19.6	29.1	22.3	20.8			
	C	30.6	37.0	34.2	29.2	36.9	37.9	34.2	35.9	35.3			
	D	33.7	27.3	29.7	32.3	26.0	25.4	22.8	25.7	27.1			
	E	14.3	9.9	11.2	13.5	9.8	12.1	5.1	9.5	10.4			
2 年 女	A	10.2	21.5	20.1	14.6	20.0	19.6	32.9	20.3	19.7	46.7	46.2	46.0
	B	39.8	32.5	32.0	31.7	30.9	28.4	28.9	30.1	29.7			
	C	26.1	30.0	30.1	31.7	30.5	30.9	28.9	30.4	29.9			
	D	15.9	13.3	14.9	17.1	15.2	17.5	7.9	15.4	16.9			
	E	8.0	2.7	2.9	4.9	3.4	3.6	1.3	3.9	3.8			
3 年 男	A	20.5	11.4	12.3	8.2	11.5	11.5	8.8	12.1	12.4	49.6	47.3	47.0
	B	28.8	25.8	26.9	24.5	25.5	25.5	27.5	25.8	25.1			
	C	26.0	34.6	32.4	33.7	34.7	33.0	36.3	34.0	33.5			
	D	19.2	20.8	20.3	22.4	20.6	21.7	20.0	20.1	20.0			
	E	5.5	7.5	8.0	11.2	7.8	8.3	7.5	8.0	8.9			
3 年 女	A	6.3	21.9	21.4	17.8	20.6	21.3	17.4	19.8	19.9	51.4	48.9	48.7
	B	34.9	29.0	29.7	30.0	27.3	28.2	30.4	25.7	23.7			
	C	34.9	30.2	28.4	25.6	30.4	28.8	30.4	30.3	30.9			
	D	17.5	15.1	15.9	14.4	16.8	16.7	20.3	18.5	19.6			
	E	6.3	3.8	4.6	12.2	4.9	5.0	1.4	5.7	5.9			
全 学 年	A	9.7	14.1	13.6	12.0	13.8	13.7	16.7	13.9	13.4	264.2	258.5	258.2
	B	29.9	26.4	26.0	26.8	26.0	25.2	25.6	25.6	24.8			
	C	29.0	32.6	31.6	29.8	32.6	31.7	32.3	32.3	32.2			
	D	22.4	20.6	21.4	21.9	20.9	22.1	18.3	18.8	19.4			
	E	8.9	6.3	7.4	9.4	6.7	7.3	4.6	7	7.8			

※令和7年度からABCDE%は示されず、平均点のみ提示されるようになった。



中期目標3	子どもたちの健全育成等の強化
基本方針	(4) 自己と他者を大切に、多様性を認め合える人権尊重意識の涵養

数値目標 ・いじめに関わる授業について、全学級年間3回以上
 ・重大事態事案「0」

具体的方策① ローテーション授業による多様性を意識した道徳授業の充実

資料1 ローテーション授業の実施状況

- ・全学年でのローテーション授業の実施
- ・養護教諭による第1学年での道徳授業の実施

具体的方策② 職員の人権教育に係る研修の充実（フィールドワーク等）

資料1 取組の状況

- 1 人権尊重教育に係るフィールドワークの実施
 - (1) 実施日 令和7年2月25日（火）午後3時から
 - (2) 参加者 16名（予定）
 - (3) 講師 お肉の情報館職員
 - (4) 内容 「東京食肉処理場」から学ぶ「同和教育」

参考資料

- 道徳授業地区公開講座
 11月2日（土） 午前9時50分～10時40分 公開授業
 午前11時00分～11時45分 協議会 保護者参加者 - 3名
- いじめの認知件数 令和5年度 10件
- 重大事案件数 令和5年度 0件

中期目標3	子どもたちの健全育成等の強化
基本方針	(5) 生徒理解に基づいた支援の充実

数値目標 hyper-QU^{※2} 回目において、学級生活不満足度群要支援群が全体の10%以下

具体的方策① 生徒会予算を投じた、より主体的な生徒会活動の活性化

資料1 - ① 生徒会の取り組み

- ・生徒会による生徒が必要な物品募集及び購入
 提案内容：冷水器、校庭の環境整備、プール更衣室の整備 等
 購入物品：校庭の環境整備（校庭整備物品等）、プール更衣室の整備は、次年度予算で整備

資料1 - ② 本取組みによる成果等

(1) 自分は社会の一員だと思うか。

…実施前 肯定的意見 71% 否定的意見 29% → 実施後 肯定的意見 80% 否定的意見 20%

(2) 社会がもつ課題に関心はあるか。

…実施前 肯定的意見 77% 否定的意見 23% → 実施後 肯定的意見 78% 否定的意見 22%

(3) 社会をより良くすることに、自分は貢献することができると思うか。

…実施前 肯定的意見 68% 否定的意見 32% → 実施後 肯定的意見 75% 否定的意見 25%

(4) 未来の社会を良くするために、何か行動しようと思うか。

…実施前 肯定的意見 85% 否定的意見 15% → 実施後 肯定的意見 85% 否定的意見 15%

<まとめ>

集団への所属感を高め、貢献する態度を育むことができた。

課題としては、(2)(4)の結果から、周囲への関心を深めることはできていないことである。

資料2 その他の生徒会の取り組み

(1) 体育着、標準服の改定に関わる協力

- 体育着（令和7年度入学生から）のデザインに関するアンケート
- 標準服（令和8年度入学生から）のエンブレム、ボタンのデザイン公募
- 標準服（令和8年度入学生から）のデザインに関するアンケート

(2) ペットボトルキャップの回収、委員会紹介動画の作成

具体的方策② 「いいところ見つけ週間」全教員による全生徒への称賛を与える機会の確保

資料1 取組状況

- 1学期：一部学級を除き全員
- 2学期：全学級全員

※課題：概ね一人1回の実施は出来ているが、主に担任が中心となってしまっているため、可能な限り複数人での記載ができるようにすることの主旨の徹底。

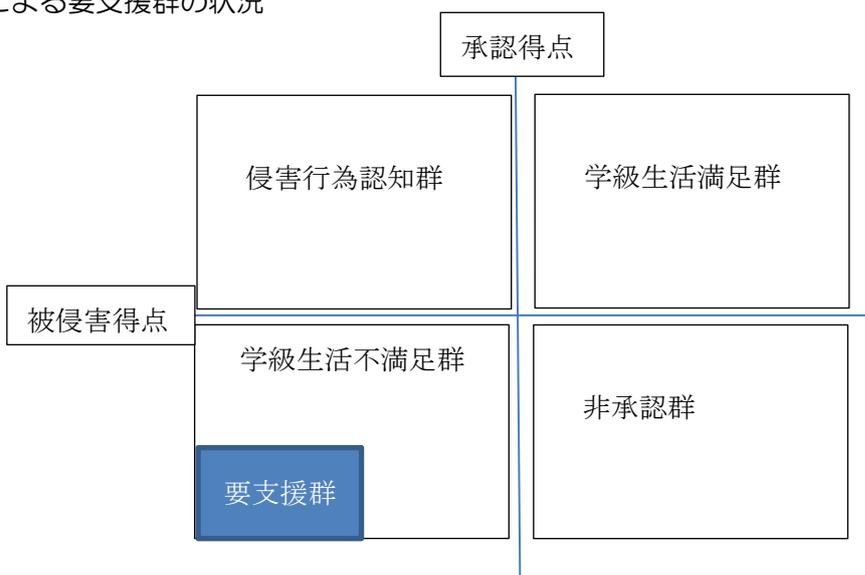


参考資料

OQUテスト（学級満足度調査）による要支援群の状況

(%)

	令和5年		令和6年		
	6月	12月	6月	12月	
第一学年	満足	60	63	58	58
	非承認	17	12	13	9
	侵害行為	8	9	10	17
	不満足	16	16	20	17
	要支援	5.6	4	5.6	4.9
第二学年	満足	64	60	60	60
	非承認	9	13	11	10
	侵害行為	11	11	10	12
	不満足	16	16	18	17
	要支援	2.6	4.0	5.2	4.4
第三学年	満足	56	60	71	79
	非承認	17	14	8	6
	侵害行為	10	9	10	6
	不満足	17	17	11	10
	要支援	4.1	3.0	4.2	1.6



中期目標3	子どもたちの健全育成等の強化
基本方針	(6) 不登校支援の充実

数値目標 不登校もしくは長期欠席者のうち、外部専門機関につながっていない生徒0

具体的方策① SC・SSWによる医療や福祉等の関係機関へのつながりの徹底

資料1 SC・SSWによる外部機関へのつながり

SC・SSWによる関係機関へのつながり(令和6年10月現在)

	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	ケース人数	外部機関へのつないだケース数	ケース人数	外部機関へのつないだケース数	ケース人数	外部機関へのつないだケース数
SC1	33	9	18	6	9	1
SC2	18	5	10	4	23	1
SSW	—	—	11	0	9	1

資料2 専門家チーム派遣の活用

令和5年度・・・2件

令和6年度・・・4件

具体的方策② ほっとルーム及びチャレンジクラスを活用した支援の充実

資料1 ほっとルームの活用状況

	令和5年度	令和6年度
第一学年	6人	6人
第二学年	4人	4人
第三学年	2人	5人
合計	12人	15人



※ただし、常時来ていない生徒も含む

資料1 チャレンジの在籍人数

	令和6年度
第一学年	4(2)
第二学年	3
第三学年	2
合計	9

()内は退級人数

参考資料

○不登校もしくは長期欠席者のうち、外部専門機関につながない生徒

R5 ⇒ 0人

R6 ⇒ 0人

○不登校生徒数及び出現率

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
1学年	11	15	11	14
2学年	16	22	24	23
3学年	10	15	25	15
合計	37	52	60	52
全生徒数	589	619	659	643
出現率	6.28%	8.40%	9.10%	8.09%
都出現率	4.93%	5.76%	6.85%	7.80%
国出現率	4.09%	5.00%	7.00%	6.70%



中期目標4	共生社会の実現に向けた教育の推進
基本方針	(7) 共生社会に向けた特別支援教育の推進

数値目標 全教員で学びのユニバーサルデザインを活用した授業等の工夫事例集を増補

具体的方策① 交流及び共同学習の充実（給食、行事、部活動、実技教科等）

資料1 交流及び共同学習の実施状況（含む予定）

<令和6年度>

- 各教科等における交流及び共同学習実施

教科	学年	単元（通常学級）	実施期間（回数）
技術	第一学年	木工（第一学年）	9～12月（12回）
	第二学年	エネルギー交換（第二学年）	9～12月（12回）
	第三学年	プログラミング（第三学年）	9～12月（10回）
家庭	第一学年	染み抜き（第一学年）	11月（1回）
	第二学年	献立作り（第二学年）	11月（2回）
	第三学年	介護体験（第三学年）	2月（2回）
音楽	第一学年	合唱（三送会に向けて）	12～1月（8回）
	第二学年	合唱（三送会に向けて）	
	第三学年	合唱（卒業式に向けて）	
美術	第一学年	鑑賞（第一学年）	1月（1回）
	第二学年	写真（第二学年）	5月（2回）
	第三学年	鑑賞（第三学年）	1月（1回）
保健体育	第一学年	ソーラン節（第三学年）	5月（4回）
	第二学年		
	第三学年		

- 特別活動・部活動

	特別活動	部活動
第一学年	校外遠足2回・生徒会	ダンス、ヨガ、トレーニング
第二学年	生徒会	野球部、剣道、美術
第三学年	修学旅行・生徒会	美術部、演劇、ヨガ



具体的方策② 全教員による年間1回以上の特別支援学級における出前授業の実施

数値目標 全通常学級担当教員による出前授業の実施

資料1 実施状況

	令和6年度	例
第一学年	3 (30%)	生物（顕微鏡の使い方）、歴史、i-padの使い方
第二学年	2 (22%)	調理、歴史
第三学年	3 (30%)	色素（水溶液）、歴史、調理
合計	8	

具体的方策③ 「学びのユニバーサルデザイン」を取り入れた授業の工夫・改善

資料1 学びのユニバーサルデザインの実践事例（2024増補版）

※ユニバーサルデザインラーニングとは・・・

米国のCASTが提唱している、学ぶための選択肢を多様にすることによって、教室における学びを誰にとっても達成可能となるように調整可能となるように調整するための理論的枠組み。

- ・ 提示（理解）のための多様な方法の提供
- ・ 行動と表出に関する多様な方法の提供
- ・ 取組のための多様な方法の提供

<参考例>

ガイドライン4「身体動作のためのオプションを紹介する」

工具選びについて、最適なものを選択できるようにする

1 支援・配慮
麻宮様式や学習を進める方法を変える

2 説明
一つの作業でも、複数の方法で作業ができることを紹介し、自分自身に最適なものを選択してもらおう。

・ 写真は穴をあける作業における方法を3種類から選べるようにする。これでも難しい場合は、機械を使用などの配慮を行う。



ガイドライン4「身体動作のためのオプションを提示する」

注目する場所を明確にして、脳と体を運動させる！

1 教具のアクセスを最適にする

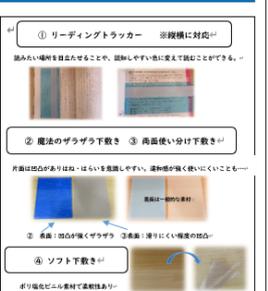
2 説明
読み書きが苦手、授業内容の理解にまぎれている生徒が、学習理解のためにより良い学習環境を整える1つの手段として使うことができます。中学生という発達過程の中で、周りと違う行動をとることに違和感を覚える生徒が多い中、目立たず使える以下の補助具を紹介します。

① リーディングトラッカー
→注目すべき箇所を強調させる。

② 魔法のザラザラ下敷き：凹凸強い

③ 両面書き分け下敷き：凹凸弱い

④ ソフト下敷き
→凹凸や柔らかさがある下敷きを使うことで、ペンの振動が伝わり、頭でのイメージと手の動きを一致させる。



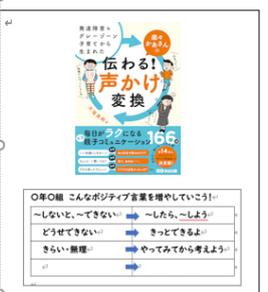
ガイドライン8「努力や頑張りを継続させるためのオプション」

マイナスのことも前向きな考え方や言葉かけに変換しよう

1 協働と仲間意識を育む

2 説明
「どうせ...」「やっても意味がない」とすぐあきらめてしまう生徒、「なんでできないの」「こんなことわかんないの」という声が飛び交うクラスなど、そんな雰囲気を作らないために、日々学校全体で前向きな考え方や言葉に変換する習慣をつけよう。

「声かけ変換表」などの本や資料がありますが、それを参考に学校全体や教員、クラスで話し合い、自分たちで特に意識したほうがいい「声かけ変換表」を作成し、クラス全体で、努力や頑張りを継続させるようにしましょう。

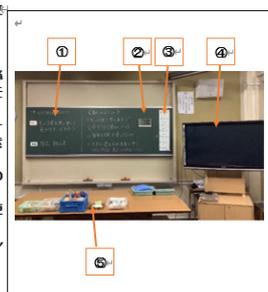


ガイドライン3「理解のためのオプションを提供する」

わかりやすいヒントやキューイング(合図)を提供した板書づくり

1 パターン、重要事項、全体像、関係を目立たせる。

2 説明
① 板書左側には本時のめあてと準備で必要なものを書き、板書右側には要点を書く。
② 制作と片付けのタイミングでタイマーをかけ、残り時間を視覚的に確認できるようにする。
③ 制作のスケジュールを提示し、進捗の確認をする。
④ 必要に応じて説明の際にモニターを使用する。
⑤ 授業で必要な道具などは教卓に準備しておく。



資料3 特別支援教室（しのたけルーム）の活用状況

	合計	在籍	入学時	途中入室	途中退室	卒業
R2	5	2				
R3	11	5	5	1	0	4
R4	11	7	4		2（年度末）	1
R5	14	8	8	2	4	（3）
R6	23	9	12	3	1	6

※令和6年度については、10月現在

中期目標5	地域に開かれた学校の実現
基本方針	（8）地域コミュニティの拠点としての取組の充実

数値目標 外部指導員の導入数が、全部活動の5割以上

具体的方策① 地域やNPO・大学等と連携した多様な部活動を設置する。

資料1 外部指導員（区費）※正規正教員の顧問を必要とする

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
種目	陸上	陸上	陸上	陸上	陸上、美術、スポーツ、 柔道、野球	下記参照
人数	2	2	2	2	6	36

R6・・・陸上、卓球、柔道、剣道、バドミントン、バレーボール、男女バスケットボール
トレーニング、野球、ヨガ、ダンス、吹奏楽、美術、英語、手づくり、ボードゲーム

資料2 部活動指導員（都費）※正規教員の顧問を必要としない。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
種目	なし	なし	なし	なし	陸上	陸上
人数	0	0	0	0	1	2

資料3 外部指導員（含む部活動指導員）導入割合

年度	部活動数	外部指導員数	導入部活動割合	備考
R5	19	6	約31%	
R6	22	36	約81%	



具体的方策② 地域と連携を図った地域の方々による第三学年全員面接の実施

資料1 地域の方々による全員面接協力者数

	R5	R6
人数	22	23

具体的方策③ 一人1ボランティア運動の推奨

資料1 ボランティアへの参加状況

<令和5年度ボランティア参加状況>

	第一学年	第二学年	第三学年	全体
地域の祭り（含む篠中フェスタ）	26	16	62	104
夏のボランティア	14	10	31	55
部活動	2	5	4	11
その他	4	7	15	26
参加者延べ人数合計	46	38	112	196
実施人数合計	36	35	83	154
実施人数割合	17%	16%	38%	24%
在籍人数	206	222	216	644

<令和6年度ボランティア参加状況>

	第一学年	第二学年	第三学年	全体
地域の祭り（含む篠中フェスタ）	48	28	45	121
夏のボランティア	4	6	2	12
部活動	6	18	1	25
その他	12	6	19	37
参加者延べ人数合計	70	58	67	195
実施人数合計	62	39	60	161
実施人数割合	26%	19%	27%	24%
在籍人数	234	208	223	665



中期目標5	地域に開かれた学校の実現
基本方針	(9) 学校情報の積極的な配信

数値目標 年間 10 本以上の動画の配信

具体的方策① 学校情報の積極的な配信

資料1 篠中ちゃんねる配信回数

	R5	R6
回数	—	14

中期目標5	地域に開かれた学校の実現
基本方針	(10) 学校関係者評価の活用・充実

数値目標 区内学校、保護者、地域に向けての公開説明の実施

具体的方策① 「地域とともにある学校づくり」の実践研究

資料1 学校運営協議会の構成 (15名)

- ・本校 PTA 会長 1名
- ・近隣小学校 PTA 会長 2名
- ・地域代表 2名
- ・地域 保護司 1名
- ・地域 民生主任児童委員 1名
- ・卒業生 (大学生) 1名
- ・PTAOB 会長 1名
- ・みんなの BUKATSU 1名
- ・公益財団法人えどがわ環境財団 1名
- ・SSS 1名
- ・元校長 2名
- ・現校長 1名



資料2 令和6年度の主な協議の論点

- ・不登校対策
- ・ALT を活用した学活について
- ・学校運営協議会の在り方について (運営の在り方等)
- ・学芸会の実施方法について
- ・校舎の有効利用について (教室配置の変更)

中期目標6	その他
基本方針	(11) 教員の生徒と向き合う時間の確保

数値目標 超過勤務時間、月 60 時間以内を年間6ヶ月以上の教員が全体の7割以下

具体的方策① 「働き方改革推進計画」の進捗管理

資料1 校務分掌の平準化

- ・分掌：教務、生活、進路・学習 の3つの分掌から
変更 ⇒ 教務、生活、進路・学習、特別支援、DX の5つの分掌へ
 - ・委員会：文化行事、体育行事、保健給食、特別支援教育推進、ICT の5つの委員会から
変更 ⇒ 文化行事、体育行事、保健給食 の3つの委員会へ
- 成果：これにより、一人1～3役といった人員が無くなり、平準化が図られた
課題：業務のすみ分けを再検討する必要がある。

資料2 部活動の平準化

- ・外部指導員（含む部活動指導員）：令和5年度 7人から
変更 ⇒ 36人へ
- ・顧問数 週1回の部活を除き、2名から4名の顧問を配置

資料3 篠崎中学校における「働き方推進計画」策定の中の終了取組（〇〇〇〇が終了）

- ・管理職による取組
管理職の確固たる決意、働き方改革推進計画の策定、学校経営支援部の活用、学年会計事務の見直し、校務分掌の平準化、在校時間縮減に向けた取組強化、担当業務の引き継ぎ書の作成、部活動活動指針の策定
- ・校内校務改善委員会による取組
会議の効率化（回数、ペーパーレス、朝打ち合わせ時間の効率化、学年・分掌部会の回数減）
行事の精選、担任業務の平準化・簡素化、集金システムの活用、定期考査の効率化、清掃場所の精選、目直業務の精選、夏季休業中のプール分担、保護者対応等の効率化
- ・教職員一人一人の意識改革に向けた取組
机上等の整理整頓、SSSの有効活用、G4⁺の連絡掲示板の活用

参考資料

○教員の超過勤務時間の状況

- ・令和5年度 9、10、11、12月までの延べ人数

	45 時間以下	60 時間以下	80 時間以下	100 時間以上
第一学年	30	6	4	0
第二学年	29	8	9	2
第三学年	27	8	7	0
合計	86	22	20	2

・令和6年度 9、10、11月までの延べ人数

	45時間以下	60時間以下	80時間以下	100時間以上
第一学年	50	15	5	0
第二学年	36	19	4	0
第三学年	53	15	3	0
その他	91	6	0	0
合計	230	55	12	0

中期目標6	その他
基本方針	(12) 効率的な学校事務の運用

具体的方策① 学校が管理すべき財産の整理・整頓

資料1 令和5年度に整理した学校財産

- ・木工準備室の整理 ⇒ 更衣室へ
- ・PC室及びPC準備室の整理 ⇒ 物品は廃棄済み、格技室に変更
- ・8組校舎一階の整理 ⇒ フィットネスルームへ
- ・来賓トイレ ⇒ 洗浄機の設置
- ・誰でもトイレの設置
- ・ほっとルームの設置
- ・女子更衣室の設置

資料2 令和6年度に整理した学校財産

	旧	新
1	第2会議室	印刷室
2	印刷室	物品倉庫
3	第1美術室	第2多目的室
4	第1美術室準備室	備蓄倉庫
5	調理室準備室	美術準備室と併用
6	調理室&8組作業室	美術作品室
7	プール下倉庫	校庭用物品倉庫、部活動活動場所
8	階段上	リサイクル机椅子一時的な保管場所
9	フィットネスエリア	フィットネスエリアの補強

○その他 校庭の整備

中期目標6	その他
基本方針	(13) 食育の推進

具体的方策① SDGs 給食の充実

資料1 本校SDGs給食

- ・年7回程度 SDGs 目標の行動に沿った献立の給食を提供
- ・給食だよりや給食委員会が昼の放送等で全校に知らせている。

<献立例>

OSDGs 目標2 飢餓を0に・・・

江戸川10の行動1 食材を無駄なく使って食べよう

【埼玉郷土料理】

かて飯、ゼリーフライ、野菜のごま和え、みそ汁

※ 芋がらを使用した混ぜご飯、おからを利用したゼリーフライ

○その他

- ・パンの耳を揚げてクルトンとして利用
- ・ボラ（東京湾で水揚げ）などの魚の利用
- ・さつまいもの皮を剥かずに使用
- ・人参の皮をドレッシングに使用
- ・世界の料理、郷土料理などで、国や郷土の文化に触れる

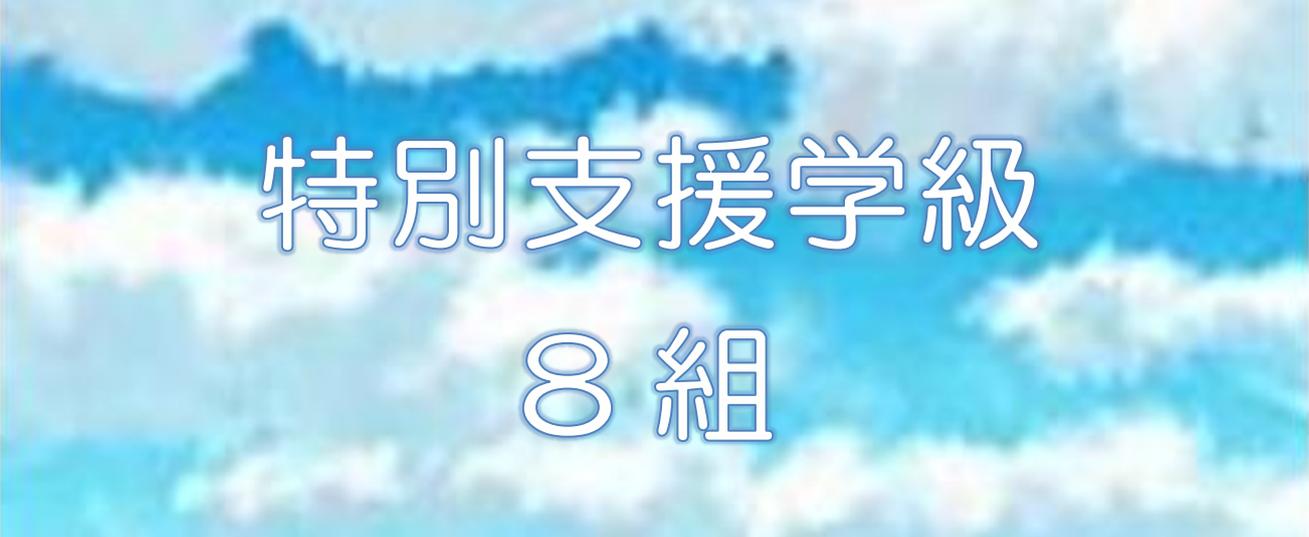
資料2 家庭科等との教科と連携した食育の実施

- ・第二学年、及び9組生徒が献立のテーマを決めて、栄養基準に沿った献立を作成
献立が採用された班は表彰を行う。

<採用された献立>

- ・例：鳥ごぼうごはん、揚げ春巻き、切り干し大根とひじきの和え物、
小松菜豆乳、みそ汁、みかん
- ・班オリジナルメニュー例：グラパン、アクアパッツア





特別支援学級

8組

中期目標 1	学力の向上
基本方針	(1) 基礎的・基本的事項の定着

具体的方策① 国語科・数学科・英語科（外国語科）・理科、社会において、学年の枠を超えた3クラス2～3展開の習熟度別学習を実施する。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○実施状況

年度初めにレディネステストを実施。その結果によりクラスを編成

○成果と課題

・成果

進度が同じような生徒であるため、全体指導と個別指導を組み合わせしやすかった。また、生徒同士でも教えあいがしやすかった。

・課題

習熟度別といっても、各グループの中で、進度が異なる場合があった。また、特定の単元だけ苦手な生徒もいるため、レディネステストを単元ごとに行う必要が出てきているが、担当によって、内容や進度が異なるため、クラス替えが困難である。

中期目標 1	学力の向上
基本方針	(2) 学習指導要領に対応した教員の指導力向上

数値目標 教育課程に基づいた関連資料（各教科の年間計画）の見直し、改善。

具体的方策① 各教科等の目的や自立活動、作業学習等の目標を意識した適正な教育課程の編成をする。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○実施状況

偏りが出ないように留意し、教育課程を編成

○成果と課題

・成果

教育課程に基づいた関連資料の見直しをして改善を行ったことにより、時間割の編成や授業準備が円滑になった。

・課題

学習指導要領に準じたねらいの中で、下学年対応の内容等、個別に丁寧に行いたい。

	日	月	火	水	木	金	土
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							

中期目標2	体力の向上
基本方針	(3) 豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実

数値目標 1回は概ね1週間、学期に一回程度

具体的方策① 朝のトレーニング週間を設定しての体力の向上をする。

資料1 **主な朝のトレーニングの実施の状況及び成果と課題**

○実施状況

選択制での朝のトレーニングを火～金に実施している。全員参加の朝のトレーニングは、学期に1回数週間程度行っている。

○成果と課題

・成果

連合行事にあわせてのトレーニングはモチベーションを上げやすかった。体育の授業だけでは足りない部分を補うことできた。

・課題

運動が苦手な生徒や嫌いな生徒は参加率が低いため、実施回数や内容を工夫する必要がある。

中期目標3	子どもたちの健全育成等の強化
基本方針	(5) 生徒理解に基づいた支援の充実

数値目標 PTAと連携した作業学習を年間1回以上実施。

具体的方策① 野菜や雑巾販売、喫茶店などPTAと連携した作業学習を充実する。

資料1 **実施の状況及び成果と課題**

○成果と課題

・成果

生徒が意欲的学習に取り組んでおり、実に生き生きとしていた。
他の学習では、見ることのできない姿が印象的であった。

・課題

教育効果としては、かなり高い作業学習であると感じている。課題としては、材料費(雑巾)の一部が公金であるため、公金でなく、PTAの財源をもとにしたい。



中期目標4	共生社会の実現に向けた教育の推進
基本方針	(7) 共生社会に向けた特別支援教育の推進

数値目標 ○交流及び共同学習年間計画の作成
○出前授業の年間実施計画の作成

具体的方策① 日常的な交流及び共同学習の機会を設定し、交流及び共同学習の更なる充実をする。

資料1 **実施の状況及び成果と課題**

○実施状況

「P12」を参照のこと。

○成果と課題

・成果

生徒自身が交流及び共同学習の意義を理解し、前向きに取り組んでいる。

交流及び共同学習をきっかけに通常学級との接点が増えた。

・課題

どうしても、通常学級になじめない生徒の個別対応

具体的方策② 出前授業の年間実施計画の作成

資料1 **実施の状況及び成果と課題**

○成果と課題

・成果

専門性のある教員が指導することにより、より分かりやすく濃い授業を生徒が受けられた。

・課題

単元の流れの中で依頼しなくてはならないので、依頼するタイミングが非常に難しい。

参考資料

○交流及び共同学習年間指導計画の作成状況

⇒作成済み

○出前授業の年間実施計画の作成状況

⇒未作成



チャレンジクラス
9組

中期目標1	学力の向上
基本方針	(1) 基礎的・基本的事項の定着

具体的方策① 国語科・数学科・英語科において、各教科担当教員を中心にチームティーチングを行い、学年の枠を超えた3クラス6展開の習熟度別自由進度学習の研究をする。

資料1 実施の状況及び成果と課題

- 成果
 - 自分の理解にあわせた単元に取り組むことができた。
 - 分からない学習が無くなるため、学習意欲が向上した。
- 課題
 - 個別になり過ぎた場面があり、6展開で足りないことが予測される。

具体的方策② 音楽科、美術科、技術科、家庭科については、各教科のねらいを維持させつつ、通称名「創造」とし、週時程に弾力性をもたせた指導を行う。

資料1 実施の状況及び成果と課題

- 成果
 - 少人数のため、きめの細かい指導が実現でき、取り残されている生徒はいなかった。
- 課題
 - 生徒にとっては、比較的なじみやすい教科であり、週一回は物足りないと感じた。

具体的方策③ 定期考査を廃止するなど、評定によらない評価を行う一方で、個の学習進度に応じた実力テストを実施するなどして、学習の習熟の程度を確認する。

資料1 実施の状況及び成果と課題

- 実施状況
 - 学力格差が大きすぎるため、実力テストを実施しなかった。
 - ただし、当該学年の定期考査を受ける生徒がいた。
- 成果と課題
 - ・成果
 - 学習に対する必ず到達すべき点は、進度をゆっくりできる要因となっている。
 - 習熟の程度について、小学校段階まで戻って確認することができる。
 - ・課題
 - 進度がバラバラであるため、実力を図るためのテストの作成が難しかった。

中期目標1	学力の向上
基本方針	(2) 学習指導要領に対応した教員の指導力向上

具体的方策① 理科・社会科においては、生徒の選択した学習問題を設定し、自己の課題の解決に向けた調べる学習を実施し、定期的な学習発表会を実施する。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○実施状況

教科書の単元を優先しており、調べる学習といった時間の設定が難しかった。

○成果と課題

・成果

意欲的に学習できるよう、単元を生徒が選択し、探究的な学びの実現が図れている。

・課題

人数が少ないこともあり、意見を交換して課題解決することができていない。

オンラインでの授業では、実験・実習ができない。

中期目標2	体力の向上
基本方針	(3) 豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実

具体的方策① 保健体育科「体づくり運動（体ほぐしの運動）」において、専門家等と連携した自律神経を整える運動、通称名「リラックス」の授業を実施する。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○実施状況

「リラックス」の時間はストレッチやダンス、バランスボールを使った運動など「体づくり運動」を中心に行った。今後はソーシャルワーカーと連携して、コミュニケーション力など生徒に必要なスキル向上を目的に取組を行っていく。

○成果と課題

・成果

運動を通して、協力やゲーム性を取り入れて運動に対して前向きな姿勢を醸成出来てきた。

・課題

運動に対して消極的な場面がみられるため、負荷の高い運動は行っていない。そのため、体力向上という観点からは不十分であった。



中期目標3	子どもたちの健全育成等の強化
基本方針	(5) 生徒理解に基づいた支援の充実

具体的方策① 制服や体育着の着用を求めないなど、生徒の実態に応じた「きまり」の抜本的な見直しをする。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○実施状況

生活のきまりを見直したが、概ね、これまで通りの生活様式を自ら行った。

○成果と課題

・成果

指導や注意を受けることが少なくなったため、ストレスの軽減にはなっている。

・課題

自身の行動が許される部分があるため、時間がルーズになりがちである。

具体的方策② 睡眠や食欲、腹痛、頭痛など、日々の記録を綴ることができる連絡帳「(仮称) マイライフ」を作成し、生徒一人一人の状況を把握した支援をする。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○成果

生徒の前日の調子や睡眠時間を把握することで、声掛けがしやすくなる。また、一言感想により、簡単なやり取りが毎日行えてた。

○課題

習慣化させて、自発的に自らの生活リズムや一日のまとめをできるように促すこと。

具体的方策③ 登校後の朝の時間を活用し、ソーシャルスキルトレーニング (SST) を実施する。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○実施状況

副教材を、それぞれの進度に併せて実施した。

○成果と課題

・成果

自分を見直す、良い機会となっていると感じた。

・課題

他者との比較が難しく、評価が困難である。



中期目標3	子どもたちの健全育成等の強化
基本方針	(6) 不登校支援の充実

数値目標 全生徒が、入級後、全体の出席すべき日数の内、85%出席

具体的方策① 登校コースとオンラインコースを設定した指導体制を構築する。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○実施状況

登校コースのみとなっているが、現状としては常時オンラインの生徒がいる。

○成果と課題

・成果

授業等の空白時間がないため、復帰後にスムーズに授業を受けられる。

・課題

オンライン授業が増え、かつ、現在と同様の授業展開となると、個別の端末が必要になることが予想され、ハード面の課題が大きい。

具体的方策② 従来の教室環境を一掃し、生徒がより主体的に学べる教室環境の整備・充実をする。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○成果

椅子や机をその時々で移動でき、習熟度別自由進度学習に対応できている。

○課題

主体的学ぶ態度の育成にはもう一工夫必要である。

具体的方策③ 「ほっとルーム」をプレ学級（準備学級）と位置付け、学習意欲の向上等、入級準備をする。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○成果

新入生については、プレ学級参加した方が、出席状況がよかった。

○課題

生活リズムの確立には良いが、教室の雰囲気は全く異なることが懸念される。



具体的方策④ 年間を通じた農業体験やセカンドスクール等、平素と異なる生活環境での体験的な学習を実施する。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○実施状況

遠足（体験的学習）を4日間、職場体験3日間、宿泊2日間を実施（予定）している。

○成果と課題

・成果

出席率は高く、意欲も高い。

・課題

3年間を見通した多彩なプログラムが必要になってくる。

参考資料

○令和6年度チャレンジクラス生徒の登校状況 ※令和6年11月末現在

・前年度登校率 40.5%（平均値）

・本年度登校率 90%

中期目標4	共生社会の実現に向けた教育の推進
基本方針	(7) 共生社会に向けた特別支援教育の推進

数値目標 週1回1週間程度を目途に、年間3回実施

具体的方策① 特別支援学級との交流給食を実施する。

資料1 実施の状況及び成果と課題

○実施状況

2学期に2回実施予定 2学期に1回 3学期に1回実施した。

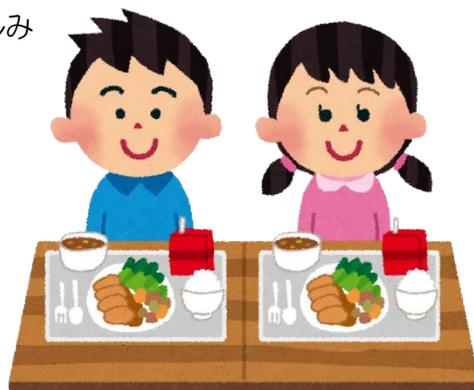
○成果と課題

・成果

多くの人々と触れ合う機会は大切

・課題

お客様扱いになっていることが多く、共同しともに楽しみあう工夫が必要である。



中期目標5	地域に開かれた学校の実現
基本方針	(8) 地域コミュニティの拠点としての取組の充実

数値目標 本校部活動、もしくは、「地域のボランティアサークルに年間を通して参加する生徒の割合が2割以上。

具体的方策① ボランティアセンターと連携をした年間を通してのボランティア活動を案内、推奨する。

資料1 **実施の状況及び成果と課題**

○実施状況

- ・1名が、ポニーランドで定期的にボランティアを開始
- ・学級全体で、ウェルカムフラワー運動を開始

○成果と課題

人との触れ合いについて、ハードルが高い生徒も複数人いる。

参考資料

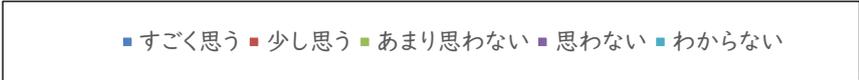
○チャレンジクラスにおける部活動等への参加状況

8名中、2名が参加している。

ボードゲーム部、ダンス部



学校評価(生徒・保護者・教員アンケート)集計結果



	生徒	保護者	教職員
放課後補習は基礎基本の定着に役に立っていると思いますか			
海外との交流授業は国際交流の役に立っていると思いますか			
調べる学習コンクールへの出品は役に立ったと思いますか			
保健体育科の授業における補助運動は体力向上に向けて役に立っていると思いますか			
「フィットネスエリア」は役に立っていると思いますか			
道徳の授業は役に立っていると思いますか			

■ すごく思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ わからない

	生徒	保護者	教職員
より主体的な生徒会活動は出来ていると思いますか			
生徒への称賛を与える機会は確保されていると思いますか			
スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーは活用したいと思いますか			
ほっとルーム及びチャレンジクラスは知っていますか			
特別支援学級との交流は有意義であると思いますか			
よく分かりやすい授業の工夫がされていると思いますか			

■ すごく思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ わからない

	生徒	保護者	教職員
多様な部活動があると思いますか			
地域の方々による第三学年全員面接は役に立っていると思いますか			
1人1ボランティア運動については、良い取り組みだと思えますか			
学校の情報発信はよくできていると思いますか			
地域と学校の交流は十分になされていると思いますか			
教師と生徒が十分に会話をできていると思いますか			

■ すごく思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ わからない

	生徒	保護者	教職員
学校の施設は有効活用できていると思いますか			
給食には満足していますか			

アンケート自由意見回答

※回答可能な意見のみ掲載しております。なお個人が特定されないよう、文言を変更しております

生徒意見

●全体

○いい学校だと思う(他 13 名)

●教務

○この欄に回答をしないという自由はないのですか。

⇒来年度は、自由意見について、必須回答ではないアンケートにいたします。

○お知らせなどはもう少し早く発信してほしいです

⇒今後、可能な限りの配慮をしていきます。

○校庭で運動する時間を増やしてほしい。昼寝の時間が欲しい。

⇒給食時間や放課後の活動時間との兼ね合いから現状が適切であると認識しております。

○4 時間授業増やしてください

⇒授業時間数については、国の基準で定めおり、その基準に沿って実施していますので、現状では4時間授業を増や

すことは困難です。

○学校内の細かい施設の説明をしてほしい

⇒本年中に、校長先生がツアーを開いてくれるそうです。

●生活

○靴下を自由にしてほしい。カーディガン、セーターの色はなぜ黒と紺だけなのか。靴下が白もありならカーディガンもありだと思ふ。

⇒可能な範囲で、個々の生徒の判断に任せていきたいとは考えておりますが、標準服である以上一定程度の規範が

必要であると考えております。

○体育着登校をありにしてほしい

⇒標準服がある以上、本校では、標準服での登校や授業を受けることは必要であるとの認識です。一方で、生徒の皆さんからの意見を受けながら、校則の弾力化等については、今後も前向きに検討をしていきたいと考えています。

○腕時計の持ち込みを許可してほしい(移動する際に時間を確認したい)

⇒貴重品の紛失を防ぐためにしています。そのため、各教室等の時計を活用してください。

○通学に使うバッグを自由にして欲しい(横に広がって邪魔)

⇒令和7年度からは自由になります。

○セーターを学校外でもきれるようにして欲しいです

⇒可能です。

○いろんな部活に顧問の先生が来てないとよく聞く

⇒顧問の先生方には、メインで指導される方サブで指導される方など、各部活によって異なっています。

○兼部できるようにしてほしい

⇒まずは、各顧問先生と話してみたいと思います。

○フィットネスエリアを説明してほしい

⇒現在は、8・9組の活動場所及び、トレーニング部やダンス部、ヨガ部等の一部の活動場所の他、他の運動部でも、トレーニング部と合同で使用し、外部指導員の方からの指導を受けているところです。
一般生徒の使用については、体育館と同様にして、事故発生等、安全面への配慮から、現状では難しいと判断して

おります。

○部活を増やしてほしいです。全ての部活で男女どちらでも入れるようにしてほしい

⇒現在、体育館、校庭ともに使用率が非常に高いため、これ以上、運動部を増やすことは不可能であると考えており
ます。

○どの部活も朝練をさせてほしいです

⇒朝練習については顧問の先生方のプライベートの時間を割いてしまいますので、現状では難しいと考えております。

○自由と個性を尊重してほしい。

⇒本校としては、可能な範囲での自由と個性の尊重を図っているとの認識です。ただし、学校といった集団では一定

程度の規範は必要であると考えています。

○学校で恋愛はしていいと思います

⇒本校では特段禁止はしておりません。ただし、他者に不快を与えるような言動は慎んでください。

○もう少し生徒と教師が仲良くなった方がいいと思います。

⇒考え方は様々ですが、もし、そう感じるのであれば、気のおける先生に話かけてみてください。

○もう少し楽しい学校生活がしたい

⇒是非、担任の先生等に相談してみてください。

○いじめがなくなるらないです

⇒いじめアンケートへの記載をお願いするとともに、いじめが発生したら、抱え込まず、至急、担任等の先生に教えてく

ださい。

○席替えをもっと多くすることでいろんな人とのコミュニケーションが取れる

⇒席に限らず、色々なクラスメイトに挨拶や声掛けをしてみてください。

○休み時間に共用の場所で騒いでいて、他の人の迷惑になっていないかを考えてほしい。

⇒確かにそう思います。皆で気がつかえるとよいと思います。

○なぜ9組の前を通ってはいけないのか

⇒9組の前の廊下は、9組だけでなく、しのたけルームやほっとルームがあり、学校に来たくても、やむを得ず来れな

い

生徒や教室に入りたくても、やむを得ず入れない生徒もおります。そのため、日中は、他のクラスの生徒の通行を

制

限しています。

○避難訓練の時に更衣室にいたのですが、扉を閉め切っていたため訓練放送が聞声辛く、カーテンを閉め切っているため校庭の様子も見えないため、危険だと感じました。放送のスピーカーをつけるなど対策をお願いいたします。

⇒至急、確認し、可能な限りの対応をとりたいと思います。

○意見ボックスをもっと身近なものにしたほうがいいと思う

⇒各フロアにおいてありますので、ご活用ください。

○どこの階段を登ってもいいという制度がほしい

⇒本校の場合は各学年6クラスあり、東京都内でも大規模な学校になっています。そのため、各階段が混んで、教室

室

移動で必要以上に時間がかかることを避けるため、このような形になっております。

○トイレに人がたまっているのを解消してほしい

⇒生徒の皆さんでの声掛けや生活委員で議題にあげてもらうのはいかがでしょうか。

○体育館で、体育座りをやめてほしい

⇒長時間は避けるようにしていますが、朝礼等の際に毎度椅子を持ち運んでくるのは、現実的はないかと感じており

り

ます。

○廊下に右側通行を作ってください

⇒是非、生活委員会で話題にしていいただければと思います。

○チャイム着席ができてない人がいるのに先生が怒らない

⇒基本的に生徒の自主的活動の中で、皆で主体的に規範意識を整えられればと感じております。

○目安箱を Forms で常設してほしい

⇒メリットとデメリットを考え、QRコード等を使用しての目安箱を検討中です。

●学習・進路

○プリントをあまり使って欲しくない

⇒可能な限りのペーパーレスはしていますが、プリントの方が、学習効率が良い場合もありますので、理解をしてくれればと思います。

○50分間先生がずっと話しているだけの授業があるのでノートをとる時間を作ってほしい

⇒可能な限りの配慮はしていますが、どうしても時間が足りない際は、その場で、教員に伝えるなど、状況に応じて対応をお願いします。

○朝読書の時間に勉強もOKにして欲しいです。学校のipadでミライシードの漢字をするとき、書きづらいのでタッチペンが欲しいです。

⇒江戸川区では、朝の時間も「読書科」といった教科等の時間になっています。そのため、あくまでも「読書科」としての授業の一貫としての授業となります。また、タッチペンについては、シャープペンやボールペンと同様、個人で購入していただけますようお願いいたします。

○テスト3週間前には試験範囲表を配って欲しいです。

⇒一般的には、前回の定期考査後からの学習内容が試験範囲となりますが、必要であれば、教科担任の先生に相談してください。

●保健・給食

○いつも美味しい

○給食のお米に何かがついていて普通の白米が食べたい

⇒栄養の全体バランスを考え、無機質やミネラルを増やすために「きび」「むぎ」「ごま」「アマランサス」を入れてい

ま

すので、是非風味も含め楽しんでください。

○家で作ったお弁当が食べたいです

⇒必要であれば担任の先生を通して相談してください。

○米が硬い

⇒お米の硬さについては人によって異なるようです。本校では、標準的な硬さにしています。

○もう少し給食を美味しくして欲しい 部活の救急バックとかももっとちゃんとして欲しい

⇒人によって異なるようですが、塩分量と食品構成に沿って献立を作っています。

○給食のフルーツを増やしてください。(他2名) 給食のデザートの出る回数を増やしてほしい。(他2名)

⇒現在、一食355円で献立を考えています。そのため、フルーツやデザート等の嗜好品については金額面、栄養面で

も、現段階では現状を維持することに御理解ください。

○セレクト給食を月一回にしてください(他1名)

⇒セレクト給食は調理員の方々のご厚意で成り立っています。現状では、調理時間や事前の集計など多くの労力を費やしており、現状では学期ごとに1回程度であることに御理解ください。

○クラス全体の少し給食の量を調節してほしい。給食が少し足りない時があります。

⇒今まで同様、全体の残菜量を見ながら工夫していきます。

○税金で歯ブラシを買うなら、昼休みに歯磨きができるようにしてほしい

⇒必要であれば毎日行ってください。

●事務

○プールの更衣室を綺麗にしてほしい

⇒次年度の水泳の授業開始時までにはこの取り換えをしたいと思います。

○校内の時計をもっと増やしてほしい

⇒どこに必要なのかわかりませんが、まずは、現状のままをお願いしたいところです。

○教室の後ろのカーテンにも黒いカーテンをつけて欲しい。

⇒原則、暗幕はないのが原則ですが、本校の場合は、日差しの関係で、前黒板が極端に見えづらくなるとったことか

ら、前の部分のみ暗幕を付けております。

○冷水機を設置して欲しいです。

⇒消費電力を伴う電化製品については、一定程度の制限があります。そのため、今後も何かしらの方法で検討してい

きますが、現段階では困難であることに御理解ください。

○共有で使っている棚を広げるか一人一人に仕切りを作ってほしい。

⇒今後、仕切りをどうするかを含めて、検討できればと思います。

保護者意見

●教務

○進路説明会は、いつも通り午後にやってほしかったです。

⇒今後、検討してまいります。

○土曜授業が多く感じます。

⇒江戸川区では、土曜授業の回数が定められており、その基準にそって実施しております。

●生活

○週3~4程度の部活が増えれば良いと思います。(他1名)

⇒お子様の生活に合わせた入部をお願いできればと思います。

○新しい制服・体育着のデザインをアンケートで全生徒に求めるのはどうかと思いました。

⇒標準服改定委員会の委員の方々も荷が重い決定である中、子供たちからの意見は、判断をしていく中での非常に大切な材料になっておりますので、御理解をいただければ幸いです。

●学習・進路

○調べるコンクール→コンクールはやりたい人がやるという趣旨のはずなのになぜ授業の時間を使ってまでやったのか本当に受験学年で迷惑でしかなかった。定期テストの範囲も終わらないと直前まで授業があったのに終わらなかつたら宿題とかコンクールの意味を考えて欲しい。

○3年生の夏休みでの調べる学習コンクールの課題は、受験勉強に忙しく厳しく思いました。

○三年生が調べる学習コンクール全員提出は、本当に必要なか不明。文献を多数読んで調べていく趣旨から外れているように思う。

⇒江戸川区では、年間を通して約 70 時間(週ごとに 2 単位時間)の「読書科」を実施しております。これは、単に読書に親しむだけでなく、読書を通じた探究的な学習を通じて、生涯にわたって主体的学び続けていくための資質・能力を育成することが目的です。本校では、今までの一部読書感想文等のコンクールへの参加をなくし、江戸川区の「読書科」をより充実させるための取組を推進しておりますので、御理解をいただければ幸いです。

○放課後補習は内容がよく分からない。授業についていけない部分を中心に手助けしてもらえるとありがたいです。1 年のときは参加していましたが、何かわからないところを教えてもらえるわけでもなかったと 2 年からは参加しなくなった。

⇒放課後補習は、本校に限らず、江戸川区全校で、教育委員会が開催している事業です。参加の仕方など、本校での工夫はありますが、あくまでも江戸川区の取組であるため、お子さまが必要と感じる際には今後ともご活用いた

た
だければ幸いです。なお、江戸川区では、本取組である

○学習に課題を抱えている小・中学生を対象にした「放課後補習教室(EDO スク)」の他、

○成績中・上位層の中学 3 年生を対象にした無料塾「EDO(えど)塾」

○中学生が学校・自宅以外で落ち着いて自習することができる場として「EDO 学舎」

がありますので、必要に応じてご活用いただければ幸いです。

●教務

○テスト範囲が広すぎる。

⇒定期考査の回数は他地区、他校と比較し、標準的なものとなっております。

○中間考査で答え直しをしたが十分に理解出来ないところがありました。先生に聞く時間も無いと言っています。全員が理解するには時間が足りないと思いますが、解説を詳しくしたりできるのではないのでしょうか。

⇒理解が不足している際は、個別に御相談頂ければ幸いです。

○テストで点数を取らさない問題や先生のお気に入りにならないと成績が取れないと聞きます。目に見えない部分の評価でかなり左右されていると感じます。定期テストの当日、テスト前に1時間目だけ自習時間を作り二時間目から試験をやっているような噂を聞きました。気のせいかもしれませんが、それもアリだなと思いました。

⇒評価に関して、ご不明な点等あれば、各教科担当等に御相談頂ければ幸いです。また、定期考査の当日の件で

す
が、それぞれの学習課題や学習の方法が異なりますので、本校では、少しでも早く帰宅させ、学習時間の確保に努
めております。

●管理職

○数学は学力別にした方がいいと思います。

⇒本校としても、東京都に申請はしている状況ではございますが、東京都全体の教員不足といった課題から、3年
生
に限り少人数指導ができていないのが現状です。

○わかりやすい授業をしてほしい。学校生活で生徒が定期的に相談できる場があると良いと思う。

⇒各教科担当の教師に御相談頂ければ幸いです。

○このアンケートで初めて知る活動がたくさんあることに驚きました。

⇒本校としては、年度当初の教育計画をHPにお示ししたり、説明会で御説明したりしている他、HPの学校日記や学校だより等でも御紹介をさせていただいているところです。しかし、その説明が十分ではないとのこと指摘を受け、今まで以上に本校の取組について、改めて周知方法等を工夫改善して参ります。

○もっとたくさんお花を植えたり、季節の飾り付けをしたら気持ちが上向きになると思います。

⇒ご意見については、前向きに検討していければと考えておりますが、生徒の限りある時間や教員の労力等を考える

と、誰がそれをやるのかといったことが大きな問題となっておりますので、御理解をいただければ幸いです。

○地域の方々との面談。面談に特化した方々がやらないと意味がないと思いますね。誰かのお母さんだったとかあったみたいですが、その方は面接による資格か何か持っているのでしょうか？高校入試に対する面接の知識を相当持っているならいいと思います。マスクをしてるから声が小さいとかの指摘。それは誰でも言えます。内容について指導もないと意味ないと思います。

⇒本取組の目的は、中学校を卒業し、新たな一歩を踏み出す3年生に対して 保護者や教職員とは異なる社会人（地域の人）との面接を経験させることを通して、社会的に自立への自覚を促す経験をさせる。また、地域の方にも意欲的に取り組んでいる生徒の姿を見ていただくこととなっております。面接を実施した生徒や本校教員、地域、保護者の方々からも非常に好評で、今後も継続すべき取組であるとの認識です。また、御意見にあります、進学に向けての面接練習は、担任や学年教員の他、管理職が全生徒に対して行っておりますので、御理解をいただければ幸いです。

●保健・給食

○給食でたまにお腹が痛くなることがあるので気をつけて欲しいです。

⇒給食では、加熱、衛生面等、衛生管理基準にそって調理しております。また、腹痛等があるのであれば、担任や養護教諭にお申し出ください。

○最近、給食への不満を漏らしています。

○小学校の時のほうが、給食が美味しかったと残念そうに話します。小学校のような給食だと子どもたちも食事をとることが楽しくなると思います。味付けや調理方法など改善を期待します。

⇒味付け等については、人によって異なるようですが、塩分量と食品構成に沿って献立を作っておりますので、御理解いただければ幸いです。

○給食がとても少なく貧相な食事と聞いております。部活動があり、成長期であるのでもう少し改善していただきたいです。

⇒中学生の部活動等を踏まえ、基準エネルギーを満たすように献立を立てております。また、今まで同様、全体の残菜

量を確認しながら工夫をして参ります。

○給食が冷たいため、美味しく感じられないみたいです

⇒他地区では、センター給食や弁当給食の地区もある中、江戸川区では、自校での給食になっておりますので温かみのある給食を提供できているとの認識です。十分とは言えないこともあろうかとは思いますが、御理解いただけ

れ

ば幸いです。

●DX

○紙の配布物を、テトルで配信してほしい

⇒可能な限りのペーパーレスを図っていきますが、学年だより等については、紙でお願いしたいなどの要望もありますので、御理解いただければ幸いです。

○修学旅行の報告を HP にタイムリーに上げていただき、たのしく拝見していました。連絡事項に限らずテトルでもっと色々な情報を告知してもいいのではないのでしょうか？テトルにより子供が手紙出してこないから知らなかった。ということが減ってきましたので、HPを見もらうことから学校と密になることもあるかと思えます。 先日の進路説明会のお話など参加できなかった保護者の方のために動画を上げていただいてもいいんじゃないかなとおもいます。

⇒学校の取組についての肯定的な御意見に感謝申し上げます。一方で、動画等での更なる情報の配信については、現在、「しのちゅうチャンネル」を通して配信しておりますが、編集等でかなりの労力を費やしているところです。動画配信のためのスタッフがいるわけではなく、これ以上となりますと教員の本務にも影響を及ぼすことにもなりかねませんので、御理解いただければ幸いです。

○全般的に保護者への連絡が遅いかなと思う事があります。併せて詳細もわかりにくく判断に困る場合があります。部活動に関して、テトルでの連絡などはあるが判断できかねることがある。試合についての保護者への連絡が遅いと感じる。

⇒ご不便をおかけしていることについては、お詫びを申し上げます。今まで同様、可能な限りの工夫・改善を図って参ります。

●事務

○学校の備品が破損しているのであれば、購入をしてほしい

⇒壊れている備品があれば、担任等にお話してください。校内予算等を全体をみて修繕・購入を考えます。

○場所に限りがあるのはしかたいたですが、もっと運動会や発表会、部活など見学出来る場所や機会を設けて欲しい

⇒まずは、運動会・発表会等について、ご不便をおかけしていることについては、重々承知しておりますが、教室の開放や、自転車での来校、合唱の2回公演等、昨年度から最大限の工夫・改善を図っているところです。また、場所を

変えての運動会や発表会等の御意見もいただいておりますが、本校の歴史として、過去に他の場所に移動しての実施もしたことがあります。使用物品の運搬や場所の予約、そして、何と云っても、生徒数700名弱及びそのご家庭の方々も含めると、想定2,000~3,000名の方々が一時に移動するため、保護者や地域の方々及び公共交通

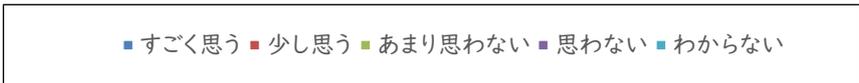
機関等からの相談も多数受けた経験から本校での実施を止む無く実施しているところです。今後とも、可能な限り

の工夫・改善に努めては参りますので、御理解いただければ幸いです。

○フィットネスエリアを使用することがないそうです。何のために用具を買ってそんな部屋を作ったのでしょうか？部活動だけで使うのなら使う部活動の部費で賄うべきだと思います。学校の予算で買ったのなら、普通の生徒にも使わせるべきだと思います。

⇒現在は、8・9組の活動場所及び、トレーニング部やダンス部、ヨガ部等の一部の活動場所の他、他の運動部でも、トレーニング部と合同で使用し、外部指導員の方からの指導を受けているところです。
 一般生徒の使用については、体育館と同様にして、事故発生等、安全面への配慮から、現状では難しいと判断しております。

特別支援学級



	生徒	保護者	教員
学習するのに望ましいクラスになっていますか			
年間の学習活動は適切であると思いますか			
朝のトレーニング週間は適切であると思いますか			

■ すごく思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ わからない

	生徒	保護者	教職員
野菜や雑巾販売、喫茶店などは適切な学習であると思いますか			
通常学級との交流は有意義であると思いますか			
特別支援学級における出前授業の実施は有意義であると思いますか			

特別支援学級 生徒意見

○毎日行きたい学校がいいですね!

○バスケがキツイです

⇒都内連合でのバスケットボール大会なので、自分の限界を少し超えて、頑張してほしいと思います。

特別支援学級 保護者意見

○学校の事を話さないなので、よくわからず、すみません。

チャレンジ学級

■ すごく思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ わからない

	生徒	保護者	教員
習熟度別自由進度学習は役に立っていると思いますか			

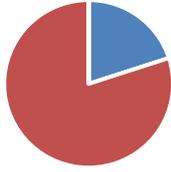
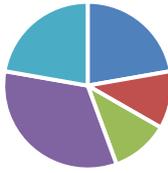
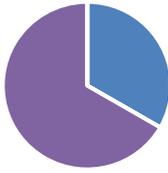
■すごく思う ■少し思う ■あまり思わない ■思わない ■わからない

	生徒	保護者	教職員
音楽科、美術科、技術科、家庭科の学習は充実していると思いますか			
定期考査の廃止や評定を付けないことは適切であると思いますか			
理科・社会科における、課題解決型の学習は出来ていると思いますか			
通称名「リラックス」は有意義であると思いますか			
学校のきまりは適切であると思いますか	/		
「マイライフ」は適切であると思いますか			

■ すごく思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ わからない

		保護者	教職員
ソーシャルスキルトレーニング (SST)は適切であると思いますか			
登校コースとオンラインコースは有意義であると思いますか			
教室環境は適切であると思いますか			
「ほっとルーム」での指導は適切であると思いますか			
遠足や宿泊などの体験的な学習は適切であると思いますか			

■ すごく思う ■ 少し思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ わからない

	生徒	保護者	教職員
特別支援学級との交流給食は適切であると思いますか	/		
ボランティア活動を行うことができましたか			/

チャレンジ学級 生徒意見

なし

チャレンジ学級保護者意見

○特別支援学級との交流があるとうれしいです。

⇒本年度は、給食での交流を行いました。今後も様々な視点からの交流を考えていければと思います。

